R８養成研修プログラム

※会場、講師の都合等により変更となる場合があります。

	時　　間	研修科目	主な内容	講師等	会場	備考
		第三者評価の理念と基本的な考え方	第三者評価事業の理念や基本的な考え方を理解する。	健康福祉政策課	事前学習	事前に資料を配布しますので、研修受講後レポートの提出をしていただきます。
		滋賀県健康福祉サービス評価システムについて	滋賀県健康福祉サービス評価システムの理解を深める			
		評価調査者の役割と倫理	評価調査者として守るべき倫理や、訪問調査時の留意点を理解する。			
		利用者調査の方法等について				
		障害者福祉施策の動向	障害者福祉施策の動向について理解を深め、評価基準（障害分野）の考え方を理解するとともに、実際の第三者評価の方法を習得する。 また、評価対象分野の特性について理解を深める。	障害福祉課		
		評価基準(障害分野)の理解と判断のポイント				
		障害分野の特性				
		児童福祉施策の動向	児童福祉施策の動向について理解を深め、評価基準（児童養護・保育・学童分野）の考え方を理解するとともに、実際の第三者評価の方法を習得する。 また、評価対象分野の特性について理解を深める。	子ども若者部 子育て支援課		
		評価基準(保育分野)の理解と判断のポイント				
		保育分野の特性				
		児童福祉施策の動向		子ども若者部 子育て支援課		
		評価基準(学童分野)の理解と判断のポイント				
		学童分野の特性				
		児童福祉施策の動向		子ども若者部 子ども家庭支援課		
		評価基準(児童養護分野)の理解と判断のポイント				
		児童養護分野の特性				
		高齢者福祉施策の動向	高齢者福祉施策の動向について理解を深め、評価基準（高齢・介護分野）の考え方を理解するとともに、実際の第三者評価の方法を習得する。 また、評価対象分野の特性について理解を深める。	医療福祉推進課		
		評価基準(高齢・介護分野)の理解と判断のポイント				
		高齢・介護分野の特性				
１日目 10/28(水)	9:30～12：00 （150分）	書面(事前)審査の着眼点・演習	書面(事前)審査の目的や具体的な方法を理解・習得する。	講師 京都社会福祉士会 事務局長　滕　憲之	県庁北新館５－Ｃ	
	12：00～13：00 （60分）	休憩				
	13：00～15：30 （150分）	訪問調査の着眼点・演習	訪問調査における面接技術、施設設備等の観察技法を習得する。			
２日目 11/17（火） 予備日：11/19（木）	9:45～12:00 （135分）	実習Ⅰ　ＡＭ（施設実習）	施設・事業所に対する調査を行うことによって具体的な第三者評価の方法・技術を習得する。		県内特別養護老人ホーム	
	12：00～13：00 （60分）	休憩				
	13：00～15：45 （165分）	実習Ⅰ　ＰＭ（施設実習）				
３日目 11/26（木）	9:30～10：50 （80分）	実習Ⅱ（報告書とりまとめ）	実習Ⅰの内容を受けて、第三者評価結果のとりまとめについて具体的な手法を習得する。		県庁北新館５－Ｃ	
	10：50～11：00 （10分）	休憩				
	11:00～11：55 （55分）	まとめ（報告書発表と講評）	実際の成果に基づいて評価調査者として求められる技術や態度等についてあらためて理解を深める。			